

## コロワイド、主力4工場で太陽光発電設備の稼働を開始 ～再エネをオンサイトで自家消費、向こう20年で約7,200tのCO2削減効果を見込む～

株式会社コロワイド（代表取締役社長:野尻公平、証券コード:7616）は、連結子会社でグループのマーチャン・ダイジングを統括する株式会社コロワイド MD（神奈川県横浜市西区、代表取締役社長:磯野健雄）の基幹工場である神奈川工場\*1において、本日、太陽光発電設備（＝写真参照）の稼働を開始したことをお知らせいたします。

（神奈川工場 屋上設置型太陽光パネル）



コロワイド MD では、本年1月よりグループのセントラルキッチンを含む主力4工場を対象として、太陽光発電設備の順次導入を進めてきました。このたびの神奈川工場での設備導入、稼働開始によって、対象の4工場における太陽光発電設備のすべてが稼働することとなります。

コロワイド MD が屋上設置型太陽光パネルによる太陽光発電設備を導入したのは、神奈川工場のほか、既に稼働済である静岡、長浜（滋賀）、三保（静岡）の4工場です。各工場の出力、いわゆる太陽電池容量（kW）の内訳は神奈川工場の213kWh（キロワット時）はじめ、静岡工場195kWh、長浜工場243kWh、三保工場157kWh、4工場の太陽光発電の出力合計は808kWhです。年平均の日射量等を勘案した年間計画発電量は817,503kWhを見込み、これは標準的一般家庭で約270世帯分の年間消費電力量に相当いたします。

コロワイド MD では、今回の太陽光発電設備の稼働によって4工場合計の年間使用電力量の7.2%を自然由来の再生可能エネルギーに置き換えるとともに、年間で360t-Co2 (トン CO2)、今後20年間で約7,200t-Co2の二酸化炭素排出削減効果を想定しております。

なお、これら4工場への太陽光発電設備は脱炭素化、二酸化炭素排出削減に向けた取組みの一環として、いわゆる電力購入契約(以下PPA)モデルによって導入されました。PPA事業者は株式会社VPP Japanであり、コロワイドMDは同社に設備の設置、保守を委託、発電された電力の全量を自社工場にて自家消費いたします。

コロワイドグループでは、持続可能な社会の実現と中長期にわたる企業価値の向上のため、サステナビリティを重要な経営課題の一つとして位置づけ、自らが取組むべき重要課題(=マテリアリティ)の一つとして「地球環境への貢献」を特定しました。地球環境の保全は次代への責務でもあり、気候変動の緩和に向けて、二酸化炭素の排出量を2030年度までに2020年度対比(=原単位<sup>\*2</sup>)で50%削減することを目標に掲げ、引き続き、サプライチェーン全般における資源の有効活用、電力消費の最適化、再生可能エネルギーの安定的利用などにより、脱炭素化の取組みを進めてまいります。

\*1 コロワイドMD 神奈川工場

所在地 : 神奈川県横須賀市佐原 2-2-2  
敷地面積 : 17,680 m<sup>2</sup> (建築面積 5,558 m<sup>2</sup>)  
建物規模 : 鉄骨造2階建、高さ約11.5m  
操業開始 : 2011年9月  
事業内容 : グループ飲食店及び外部企業向け  
各種食料品の調達および製造

<https://www.colowide-md.co.jp/>



\*2 原単位: 売上高百万円あたりの排出量

以上

【報道関係の方からのお問い合わせ】

株式会社コロワイド 広報部/サステナビリティ推進室  
電話 : 045-274-5994 / E-mail : [sasutena@colowide.co.jp](mailto:sasutena@colowide.co.jp)